

ICT(情報通信技術)を活用したコンテナ輸送効率化 『CONPAS』(新・港湾情報システム)について ～搬入車両も対象とした試験運用を行います～

1.概要

セキュリティを確保しつつ、手続きの簡素化、ゲート前の混雑緩和等を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的に『CONPAS』の試験運用を行います。

今回の試験運用では、事前予約制度の実現に向けた検証、搬入票の電子化に向けた検証を実施します。

※今回から新たに搬入車両も対象とした検証を実施します。

2.実施期間・実施場所

期間：平成31年2月13日(水)～3月1日(金) ※土日祝除く

場所：横浜港南本牧ふ頭コンテナターミナル

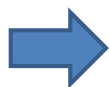
(平成30年1～3月、8～9月、11～12月の試験運用に引き続き、4回目の試験運用となります。)

3.試験運用のしくみ

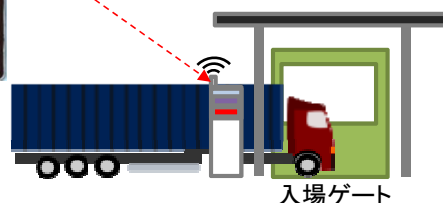
○事前予約制度



ターミナル入場時間を『CONPAS』に
事前登録(予約)



運転手がリーダーにPSカードをタッチ



入場ゲート

PSカードを利用してゲート処理

(今回の試験運用では、搬出入車両(実入り・空)が対象となります。)
(事前登録した参加車両は、試験運用車両レーンを走行します。)

○搬入票の電子化



海貨・倉庫等

『CONPAS』に搬入票の情報を入力

搬入票情報の電子化

(今回の試験運用では、海貨・倉庫等でタブレット等を用いて搬入票情報の電子化のトライアルを実施します。)

(今後、電子化された搬入票情報をコンテナトラックがターミナルに到着する前にターミナルが所有する情報と照合することにより、円滑な入場の実現を目指します。)

お問い合わせ

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室
公平(こうへい)、森川(もりかわ)

TEL 045-211-7437

MAIL pa.ktr-portlogistics@ml.mlit.go.jp

CONPAS[®]
Container Fast Pass